

平成28年度 広域漁港整備事業 再評価調書

事業名	広域漁港整備事業	地区・路線名	牟岐漁港 牟岐地区・古牟岐地区
事業主体	徳島県	関係市町村	牟岐町
事業概要	<p>(事業目的) 漁港施設の整備・改良により、就労環境を整えるとともに、漁港施設用地の改善を図る。また、南海トラフ巨大地震等による津波から背後集落の生命・財産保全の防護するため、防波堤や水門の整備や護岸の嵩上げ等を実施する。</p> <p>(漁港概要) 属地陸揚量／金額 231.9トン／262百万円 利用漁船数 311隻</p> <p>(事業内容) 総事業費 4,081百万円(国50%、県40~38%、町12~10%) 工期 平成14年度~平成39年度 主要工事 【牟岐地区】 護岸(1工区) L=54m 護岸(2工区) L=405m 物揚場 L=110m 導流堤 L=30m 耐震強化岸壁 L=80m 水門 N=1基 橋梁 N=1基 臨港道路 L=440m 西防波堤(改良) L=274m 東防波堤(改良) L=307m 沖防波堤 L=30m 浚渫 L=11,000m² 【古牟岐地区】 突堤 L=30m</p>		
	事業評価	<p>(事業の進捗状況) 牟岐広域漁港整備事業は、国の採択を受けて平成14年度より着手した。まず、古牟岐地区に着手し、平成14年度には完了した。牟岐地区では、一部住民から計画について、環境保全の観点から懸念があり、地元との調整を行い、平成18年度より本格的な着手に至った。着手後は、平成21年度に1工区の護岸、平成24年度には水門及び橋梁、平成27年度には岸壁の耐震化と2工区の護岸が順次完了した。現在は、西防波堤の粘り強い化への改修工事を実施しており、平成30年度に完了予定である。平成31年度以降は、東防波堤、浚渫等を実施し、平成39年度の事業完了を予定している。 平成28年度末の事業費進捗率は56.7%。</p> <p>(関連事業の進捗状況) 漁港環境整備事業により、当事業で整備した護岸の上部に遊歩道を整備している。</p> <p>(社会経済情勢の変化) 平成24年度に、徳島県地域防災計画において「防災拠点漁港」に位置づけられたことから、南海トラフ巨大地震等に対して、発生直後から物資や避難者の輸送が可能となる強さを有することが求められている。 平成25年度には、東日本大震災を契機として、漁港施設の耐震化・耐津波化に関する指針が改定され、それらを踏まえた整備方針への変更の必要が生じた。</p> <p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 南海トラフ巨大地震等による津波に備えて護岸の嵩上げに加え、防波堤の粘り強い化や岸壁の耐震化を計画を変更して盛り込んでいる。</p> <p>(事業効果の発現状況) 本事業により物揚場が改良され、漁獲物の陸揚げ作業時間の短縮や労働作業環境の改善が図られた。また、防波堤・護岸の嵩上げ、水門の整備により、背後集落の生命・財産の保全が図られる。 投資効率=総事業効果額／総事業費=1.19</p> <p>(受益漁家、関係機関の意向) 受益漁家をはじめ地元住民からも防災機能を強化する本事業へ強い要望がある。 また、牟岐漁港は、平成28年3月に策定された「徳島県漁業版事業継続計画」の基本方針において、被災後の漁業の早期回復の核となる漁港として位置付けており、関係市町・漁協・漁業者等と連携した事前準備を推進している。</p> <p>(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。</p>	